

宇治山画伯の「立体的作品」

別府市の医療法人が寄贈

別府市北石垣の医療法人別府玄々堂別府湾腎泌尿器病院(佐藤文憲院長)は、日田市出身の画家・宇治山哲平さん(1910〜86年)の壁画を別府市に寄贈した。円柱に描いた珍しい立体的な作品。市美術館に展示している。

壁画は74年に描かれ、大分総合健診センターの3階の柱に飾られていた。センターが入っていた建物は後に上人病院となり、2015年に経営を引き継いだ別府湾腎泌尿器病院が、旧施設の解体に伴って3月に市に寄贈した。

壁紙に鮮やかな色彩で幾何学的な形が描かれた抽象画2点で、直径90センチ、高さ2・5メートルの円柱2本に取り付けている。宇治山さんは「色と形の交響によって、明るく楽しい生き生きとした美感を表現した」との解説を残している。

(八坂啓佑)

市美術館に円柱2本

「多くの人に見てほしい」

宇治山哲平さんの壁画を別府市に寄贈した医療法人別府玄々堂別府湾腎泌尿器病院の佐藤文憲院長―別府市美術館



まるっと大分

各地のニユース